



東京都上野、寛永寺の門前に、名の通った豆腐屋があります。豆腐と書く豆腐料理で有名な店も比較的近くにあります。この豆腐屋さんは、料理店ではなく手造り豆腐の製造販売をしている店です。

ここ上野桜木町は都内の名水どころのひとつであり、この店では、仕込み水は地下30mからの井戸水を吸い上げて使っています。この水は、癖のない軟水で、かすかな甘みがあり、この水がおいしい豆腐の秘訣のひとつになっているようです。

現在の主人(二代目)は「やわくてかわれにくい豆腐が親父からの教え。その通りに作っているだけです」とさりげなく謙虚に話されます。また、その親父は「一粒の大豆を捨合わないようではない豆腐屋にはなれない、よその品物はけなすな、俺が一番だと思うのは他の店にまかせて、うちは二番でいいとおもえ」と息子である現主人に教えたそうです。「一番だと思ったら、伸びねえ。」

自慢高慢バカのうちというわけです。おいしい豆腐一つ作るにもたいへんな努力がいくことで、味に自信があるからこそ謙虚に「一番」と言えるのだと思います。食べ物でおいしいと雑誌などで紹介され、人気の出ている店でも威張つてるようなところは、それほどおいしくなくやがて廃れていくのです。

謙虚さ、そして努力を続けていくことが必要なことは、なにも商売に限ったことではありません。

勉強でも同じです。よくテストで百点満点をとった人よりも、間違えた人のほうが学力がつくと言われます。満点だと「私は完璧にできた」と自惚れ、安心してしまいますが、間違えたために満点を取り損ねた人は、悔しいのもう一度、勉強し直すので本当の力がつくものです。勉強の心得としても、この豆腐屋さんの言葉はとても重みがあります。妥協の「二番」ではなく、まだまだ不十分、上には上がある。「二番」という考えは、大事なことでないでしょうか。



伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

骨髄バンクドナー登録のお願い

現在、日本で骨髄バンクに登録しているドナー登録者は右肩上がりで増えており30万人を超えました。

しかし、移植率(患者さんが移植を受けられる割合)は未だ6割弱にとどまり、患者登録された患者さんの4割以上の方が骨髄移植を受けられない状況です。一人でも多くの患者さんを救うためご協力をお願いします。

ドナー登録は、富士・東部保健所に来所していただき、骨髄バンクの説明と意思確認をさせていただきます。登録を承諾された場合は、2ccの採血をしていただき30分程度で終了します。ご協力いただける方は、事前に電話での予約をお願いします。

○ドナー登録ができる人
・年齢が18歳から54歳までの健康な人
・骨髄提供の内容を十分理解した人
・体重が男性45kg・女性40kg以上の人
※関心や質問がある方についても連絡をお待ちしています。

登録受付・問合せ
地域保健課 ☎0555(24)9035

難病患者に対する医療費助成の受付

原因が不明で治療方法が確立していない病気を難病といいます。

難病のうち、治療が困難で、病状が長期にわたり、単に経済的な問題のみならず、介護などに著しく人手を要するために家庭の負担が重く、また、精神的な負担の大きい疾病45疾患を国では特定疾患として指定しています。

特定疾患に認定され「特定疾患医療受給者証」の交付を受けると、治療にかかった費用の一部が助成され、患者さんの負担が軽減されます。

医療費の助成は、病気の重症度、所得額などにより決定されます。初めての方は主治医の先生に相談のうえ、保健所までご連絡ください。「特定疾患医療受給者証」の申請用紙は、保健所で配布しています。

また、療養生活に関することもお気軽にご相談ください。
詳しくは、富士・東部保健福祉事務所のホームページ(難病支援)をご覧ください。

問合せ 健康支援課
☎0555(24)9034